

公明党鶴見支部

\*発行責任者\*  
鈴木 ひでし

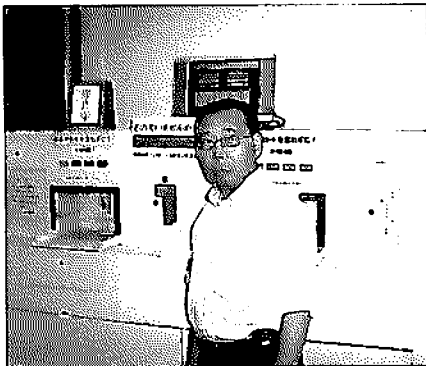
地域発  
公明党

# さわやか No.49 ニュース

## 横浜市営バス売上金 窃盗事件 公金横領”許さない”

### 再発防止策へ現場視察

市会交通委員会の委員  
まきしま秀昭 市議



改良された売上金収納機の前で



インタビューを受けるまきしま市議

横浜市営バスの売上金約二億五千万円が、不明になっている事件で、横浜市会交通委員会(まきしま秀昭委員長)は、七月までに事件のほぼ全容を解明。交通局は、一九項目に亘る再発防止策を発表。委員会では、改善後の営業所を検証する事を申し入れた。そこで、九月三日、まきしま市議は委員長として交通委員会のメンバーと、事件現場の一つである、浅間町営業所を視察し、再発防止策の徹底の様子を検証した。視察後、まきしま市議は、マスコミの取材に「これが当たり前、こんな簡単に出来るなら、もっと早く対応出来たはず」と指摘をした。

## 県の小児医療費助成の対象が拡大

県議会で代表質問  
鈴木ひでし 県議



鈴木ひでし県会議員は九月十九日の代表質問で①行財政問題について②神奈川県構想・実施計画について③福祉・医療問題について④県民サービス向上について⑤災害対策について⑥スクールゾーンの安全確保について知事、並びに教育長の見解を質(た)だしました。  
この日の鈴木県議に対する答弁で特筆すべきことは  
①松沢知事は、県は市町村が実施する小児医療助成への支援制度について、

通院の対象年齢を現行の3歳未満から小学校就学前まで拡大する事を明らかにし、実施を二〇〇八年十月から実施するとの考えを明らかにしました。  
この詳細については、日本経済新聞、東京新聞、神奈川新聞が大きく報じました。  
②また、引地教育長はスクールゾーンの安全確保について県教育委員会、警察本部、道路管理者等関係機関で構成する仮称「スクールゾーン重点対策協議会」を設置し、互いに連携、協力を進めながら、子供たちの交通事故防止対策の強化を図ることを答弁しました。  
これで鈴木県議が選挙の際に県民、市民そして区民の皆様にご約束した政策が、選挙後半年で、また一つ実現しました。

県会



鶴見から始める街づくり  
鈴木ひでし

市会



安心して子育ての出来る街・つるみ  
まきしま秀昭